

物品購入仕様書

1 適用

本仕様書は、「一般 X 線撮影装置 購入」に適用する。

2 目的

この契約は、発注者（以下「甲」という。）が、一般 X 線撮影装置を受注者（以下「乙」という。）から購入することを目的とする。

3 購入物品仕様

別紙のとおり

4 履行場所

東京都町田市旭町 2 丁目 1 5 番 4 1 号 町田市民病院

5 履行期限

2022年 3月 31日

6 納品方法

- (1) 納品方法及び日時は、甲・乙協議して決めるものとする。
- (2) 納品場所は、履行場所の甲が指定した場所とする。

7 契約代金の支払い

甲は、納入品をもって検査を行い、その結果合格と認めたあと、乙の請求に基づき代金を支払うものとする。

8 安全対策等

乙は、本契約を履行するにあたり関係法令を遵守し、甲及び第三者に損害を及ぼさないよう安全性の確保に十分留意し、損害を及ぼした場合の一切の費用は乙の責任において速やかに対処すること。

9 定めのない事項

本仕様書に明記されていない事項であっても、その性質上当然に必要なものは全て乙の負担で実施すること。

その他、本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて甲・乙が協議して定めるものとする。

購入物品仕様

調達品の構成等は次のとおりとする。

1 診断用 X 線装置 納入物品内訳

(1) 高電圧発生装置	1 式
(2) 天井支持形保持装置	1 式
(3) X 線管装置	1 式
(4) X 線可動絞リ	1 式
(5) フォトタイマー	1 式

2 装置の要件

(1) 高電圧発生装置については、次の要件を満たすこと。

- ① X 線発生装置は、インバータ方式であること。
- ② 撮影術式はブッキー撮影 1、ブッキー撮影 2、ブッキー撮影 3、一般撮影 1、一般撮影 2 の 5 術式の使用が可能であること。
- ③ 定格出力は、80kW 以上であること。
- ④ 管電圧設定範囲は 40kV～150kV の範囲を 1kV ステップで設定可能であること。
- ⑤ 管電流設定範囲は 10～1000mA の範囲で、13 段階の設定が可能であること。
- ⑥ 撮影時間の設定範囲は、1ms～9s の範囲で 69 ステップの設定が可能であること。ただし、0.5mAs 未満又は 630mAs を超える設定は除く。
- ⑦ 短時間定格は、150kV 時 500mA 以上、80kV 時 1,000mA 以上であること。
- ⑧ 撮影条件のメモリスイッチを有しており、16 種類の撮影プログラムがワンタッチで設定できること。
- ⑨ プログラムは 999 種選択可能であり、体格選択スイッチと合わせて 3996 種のプログラムが設定・選択できること。
- ⑩ 体格選択スイッチが 4 つあり、患者の体格に応じた撮影条件にボタン一つで変更できること。
- ⑪ 特定のプログラム撮影後、自動で次のプログラム撮影に移る機能を有し、移動範囲は最大 8 プログラムできること。
- ⑫ 管電圧、管電流及び撮影時間をダイヤルキーで変更可能できること。
- ⑬ プログラム選択スイッチは、シートキースイッチ方式でありそれぞれのスイッチ面が全面発光するタイプであること。
- ⑭ 操作室でレディ、曝射が行えるハンドスイッチを有すること。
- ⑮ FPD システムで選択・指定された X 線条件で撮影が行え、条件設定の手間を省くことができる機能を有すること。
- ⑯ X 線撮影後、FPD システムの端末へ、実曝射情報を自動で送信する機能を有すること。
- ⑰ NDD 法によって患者表面線量の推定値が表示可能であること。
- ⑱ 撮影室のドアが開いたままの場合、パネル上のマークが点灯しドアが開いている事を

アナウンスできること。

- ⑯ 検査室内に曝射スイッチ設けること。

(2) 天井支持形保持装置については、次の要件を満たすこと。

- ① 上下方向の可動範囲は、1,700mm 以上であること。
- ② ローテーション（サポートアーム軸回転）は、 $\pm 180^\circ$ の回転が可能であること。
- ③ ローテーション（サポートアーム軸回転）のロック方式はオフロック式電磁ロックであること。
- ④ スイング（支柱軸回転）は、 $-180^\circ \sim +150^\circ$ の回転が可能であること。
- ⑤ スイング（支柱軸回転）のロック方式は 15° ごとに固定できる電気制御式メカニカルロックであること。
- ⑥ X線管保持装置は管球焦点が床から 30cm 以下の高さまで下がること。
- ⑦ 長手動及び横手動のロック方式はオフロック式電磁ロックです。
- ⑧ X線管装置の前後首振りが 30° 変更可能であること。
- ⑨ 天井走行レールのストロークは長手方向に 440cm 以上、横手方向に 200cm 以上を有すること。
- ⑩ 操作部の握りは 360° どの方向からも握りやすいリング型ハンドルを採用していること。
- ⑪ 本体マークとロック解除スイッチが同色化されており、移動方向が一目で確認できること。
- ⑫ 装置に電源が入ると角度表示部全体が点灯すること。
- ⑬ 操作スイッチ部でローテーション（サポートアーム軸回転）の角度を確認できること。
- ⑭ 操作部のスイッチ形状はピアノキーで、スイッチを押しながらのハンドル操作が簡単であること。
- ⑮ 立位撮影台の位置決めの高さ調整に保持装置が追従して動き、X線の焦点高さを連動する機能を有すること。
- ⑯ 臥位撮影台の天板の高さ調整に保持装置が追従して動き、X線の焦点高さを連動する機能を有すること。
- ⑰ 操作スイッチ部及びハンドル部に 1 つずつオールフリースイッチが設けられており、どの方向からでも片手での位置合わせが可能であること。
- ⑱ 据付時に設定した場所でブレーキが働き、位置決めできる機構を有すること。
- ⑲ 高圧ケーブルなどが通るケーブルホースは、垂れ下がらないようリールで巻き上げられていること。
- ⑳ ストレートサポートアーム（XGST-SATS/01 組み合わせ）に変更すること。

(3) X線管装置については、以下の要件を満たすこと。

- ① 最高管電圧は、150kV 以上であること。
- ② X線管の焦点サイズは、0.6mm/1.2mm 以下であること。
- ③ 陽極蓄積熱容量は、300kHU 以上であること。
- ④ ターゲット角度は 12 度以上であること。

(4) X線可動絞りについては、以下の要件を満たすこと。

- ① 羽根の駆動方式は手動を採用し、開度を設定できること。
- ② 最大照射野は、SID65cm で 35×35cm であること。
- ③ 照射野表示ランプは LED ランプを採用していること。
- ④ 線質フィルタは 3 種類を備えていること。

(5) フォトタイマー

- ① 自動露出制御機能を有していること。
- ② 自動露出制御機構によって X 線を遮断する段階を 9 段階に設定・変更できること。
- ③ 立位撮影台に組み合わせ可能な検出器を備えること。
- ④ 臥位撮影台に組み合わせ可能な検出器を備えること。

(6) 装置障害支援体制については、以下の要件を満たすこと。

- ① 設置から 1 年間は、無償にて点検、調整を随時行うこと
- ② 故障時において復旧のため現場で迅速な対応が可能なこと。

(7) 機器の設置については、以下の要件を満たすこと。

- ① 搬入、据付及び調整等を行うこと。
- ② 甲が用意した空調設備、電源設備等一次設備以外に必要な設備があった場合には、乙にて用意すること。
- ③ 新装置設置時、既存機器については、乙が無償で引取ること。
- ④ 設置及び据付等の日程は、協議の上、決定し、実施すること。また、乙は決定した日程から遅れる場合には、甲に報告及び協議すること。

(8) その他については、次のとおりとする。

- ① 日本語操作マニュアルを備えること。
- ② 設置、稼働にあたり、十分な教育訓練を行うこと。
- ③ 3 番撮影室の診断用 X 線発生装置は RIS からの撮影条件(当院使用している部位コード)を使用し FPD 装置経由にて撮影条件を自動的に選択されるようにすること。また、接続に係る費用は本導入費用に含むこと。
- ④ 3 番撮影室の診断用 X 線発生装置更新の導入の際に DICOM RDSR もしくは、同等の機能を有し、撮影条件、被ばく線量などの情報を、被ばく線量管理システム及び PACS 等の当院の指定する装置へ送信し記録できるようにすること。また、接続に係る費用は本導入費用に含むこと。
- ⑤ IP アドレス等が必要の際には当院規定に基づき設定すること。また、設定後は使用した IP アドレス等の情報を当院 PACS 担当者へ報告すること。
- ⑥ PC 等を導入する際にはウイルスに対するセキュリティ対策を講ずること。
- ⑦ 本装置導入に際し、システム関連等に関しては当院 PACS 担当者と協議し、その指示に従うものとする。
- ⑧ 時刻設定が必要の際には、当院タイムサーバと時刻同期をとること。

- ⑨ ネットワーク接続ケーブルが必要の際には、白色を使用すること。なお、ケーブルの接続はカテゴリ6.0を使用し、原則ハブの使用は不可とする。
- ⑩ 検査室内の壁、床の復旧に際しては、検査に支障がないよう、きれいに仕上げること。
- ⑪ その他定めのない事項については、甲と協議のうえ、その指示に従うものとする。